

読書

本と話題

シオニズム イスラエルと現代世界

鶴見太郎 著



岩波新書・1120円

つるみ・たろう 82
年生まれ。東京大学大
学院准教授

多くの読者は現下の中東情勢、とくにパレスチナに対するイスラエルの強硬姿勢を読み解く一助になると期待して本書を手取るのではないかと。だとすれば、良い意味でその期待は裏切られよう。本書の関心の射程はより広く、深い。

中東情勢を踏まえて需要の高まる。シオニズムに関する書籍の

世界をいかに作り変えた思想か

多々あるイスラエル理解に向けて、数多ある入門書・概説書と比べた際の本書の最大の特徴は、19世紀末以降のロシアを起点としてシオニズム(ユダヤ人の民族的拠点をパレスチナに築くことを目指す思想・運動)の変遷と影響を読み解く点である。シオニズムに関する書籍の

評者 高尾賢一郎 中東調査会協力研究員



大西恭子、大西景子 著
『BOX & NEEDLEが旅した世界』

京都の小さな工房が立ち上げた、イタリア、ネパール、フィンランドなど世界各地の紙を使って貼り箱を作る専門店「BOX & NEEDLE」。紙を求めて国内外の工房を訪ね、その歴史や作り手の思いを聴き、紙がなくなると出会いを紹介し、草花や動物、演劇の舞台、靴や洋服などをデザインした紙は色彩豊かで魅力にあふれています。

(青幻舎・2300円)

その特徴は、2018年現在で1654頭に減少した。在来馬にも引き継がれています。北海道大学名誉教授の近藤誠司編『日本の馬 在来馬の過去・現在・未来』(東京大学出版会・4500円)によれば、在来馬は持久力と積載能力では他の馬にひけをとらず、精

国策で在来馬激減



そんな馬なら、表情などから他の馬の感情を推測できるのにも納得です。加えて人間の表情やしぐさから人間の感情を読み取る能力も高いことが、実験で確かめられているらしい。

◆水生樺著『僕の青春をクイズに捧ぐ』(新潮社・630円) 殺人事件とクイズの謎が絡む青春ミステリー。天才クイズ集団「Q.w.i.t.h.」に入りたい高校生・鷲戸創は、廃校で

◆光文社文庫編集部編『Jミステリー2025 F.A.L.L.』(光文社) 日本ミステリー界で活躍する6人の作家による書き下ろし6作品を収録しています。薬真中顕作「21グラム」は、

子どもの頃から「幽霊が見える」ことで悩んでいたという学生・星野初音が、所属するサークルでの殺人事件の犯人を推理し通報してしまふことで始まり、やがて悲劇的結末を迎えます。

文庫

◆ロフ・ハート、アレックス・セグラ著『暗黒空間』(東京創元社・1600円) 人類が太陽系内の惑星や衛星に進出した未来社会の、その内容を無視せよとの通外惑星探査船のエンジン出

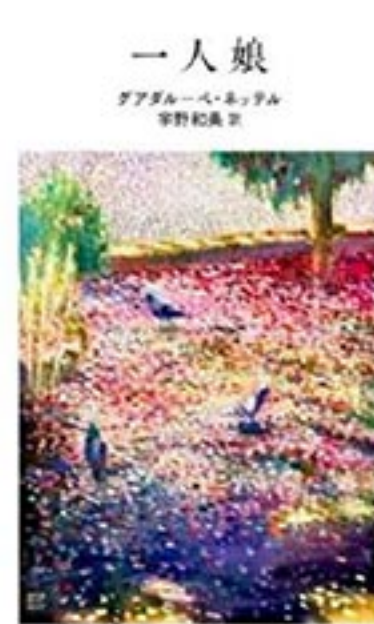
◆片山亜紀編訳『ワァー ジニア・ウルフ エッセイ集』(平凡社・1800円) 小説「タロウエイ夫人」等、知られる、イギリス近代女性作家の随筆選集です。民衆不在の歴史の風刺作家の内面に迫ります。

西洋馬だけではない かなり優秀な在来馬

神面でもタフであることが確認され、栄養特性でも野草や林内放牧地における栄養摂取に優位性がうかがえるようです。

同書によれば、江戸末期には少なくとも数十万頭の在来馬がいたが、明治維新後、日本陸軍は日本の軍馬を欧米並みに大型化するため馬匹去勢法(1902年)などを定め、在来馬の雄を去勢し馬の改良は西洋馬で行うことを国民に強制。在来馬は激減し、名馬で知られた南部馬などは消滅しました。しかし扱いやすい在来馬への人気も根強く、北海道和種馬は北海道長官の要請などもあって一部地域で存続が許されました。木曽馬も、去勢前の若馬を雌馬などと混牧するなど血統を残す抵抗が続いてきた。第三者の馬が仲介に入ること多いと

グアダル・ペ・ネットル 著 宇野和美 訳『一人娘』



現代書館・2800円

異国の風物や、自分とは違う人々の考え方を、つぶさに知ることができ、それが翻訳小説を読む楽しみのひとつだ。本作は現代メキシコ作家として評価の高い、グアダル・ペ・ネットルの長編。描かれる町の雰囲気、家庭料理や食堂のメニュー、そして伝統的な男性優位社会の価値観「マツモ」に異を唱える草

重大な人生の選択を前に

の根の連帯活動などは、間違いない興味深い。

だがこの本に惹かれる人の多くは、むしろ世界中どこにでもある人生の選択の問題を抱え、悩む登場人物たちに、共感するのはないだろうか。子どもを産むか、キャリアを優先するか、障害のある子を育てるか、機能不全に陥った隣家の母子に手を差し伸べるか、娘の生き方に口出しする母との関係をどうするか。作家は友人の実体験に取材して、この作品を書いたのだそう。

フランスで知り合い、子どもは産まないという気持ちはたまたまの主人公・ラウラと親友のアリナは、メキシコに戻り、異なる道を選ぶ。懐妊に喜ぶアリナと夫は、出生前診断で娘の重篤な疾患を知り、さまざまな選択を迫られる。医療の方針、ベビーシッター、仕事復帰、夫婦のセックス。

(明治大学教授・詩人)

フェミニスト政治経済学

大橋史恵・堀芳枝「編」

人間が尊厳をもつまじうに生きられる地平をめざし、より公正で持続可能な社会の実現に向けた政治・経済的な変革を提言する。

目次

第1章 フェミニスト政治経済学とは何を問題にしているのか

第2章 フェミニスト政治経済学の輪郭をつかむ

第3章 フェミニスト政治経済学の源流をたどる

第4章 フェミニスト政治経済学の「労働」認識

第5章 グローバル経済の収奪と搾取の構造

第6章 生産領域のグローバル化

第7章 再生産領域のグローバル化

第8章 金融領域のグローバル化

第9章 グローバルガバナンス

第10章 生存の危機と抵抗

第11章 社会の再生産の枯渇

第12章 日常実践から切り拓く抵抗領域

社会的再生産を重視し、世界を編み直す
Feminist Political Economy

大月書店 東京都文京区本郷2-27-16 ●メールマガジン配信中 ●主な新刊の試し読みができます
☎ 03(3813)4651(代表) <https://www.otsukishoten.co.jp/> 税込価格 1月の新刊

小さい皆さん、こんにちは

わたなべ たけひこ 著

ある犬は、命をかけて王を守りぬき、あるフクロウは、死してなお家族を見守る――勇気、孤独、希望、さまざまなかたちの「生きる」を見つめた童話が、読む人それぞれの心にそっと寄り添う。ページをめくるたび想像力が広がる珠玉の一冊。

子どものまなざしで世界を見つめ直すと、大人の心にも、静かな気づきが訪れる。

親子の時間をやさしく包む短編童話集。

心に小さな灯をともし、三十七の物語。